

2025 年第 3 回 IEEE 東京支部理事会 議事録（案）

日 時：2025 年 9 月 12 日（金）15:00～17:00

場 所：日立製作所 中央研究所（研究開発グループ国分寺サイト）協創棟 1 階

NEXPERIENCE

出席者：平本 Chair、鈴木 Vice Chair、久本 Secretary、菅原 Treasurer

<以下 順不同>

木村 COC Chair、馬場 FNC Chair、平野 NC Chair、松本 TPC Chair、吉田 SAC Chair、武田 PC Secretary、河東 Chair、浅井東京支部 Secretary Elect、小野寺 YP Chair、野中 WIE Chair、奥村 Past Secretary、樋口 Past Treasurer

オブザーバー

滝嶋 HTC2025 実行委員長・JC Vice Chair

稲森 EA Chair

鈴木（麻）SIGHT Chair

大島 HISTELCON Local Arrangement Chair

事務局：加藤事務局員、福岡事務局員

幹事会社：千野、大鰐、木村（記）

（出席者合計 26 名 現地参加：18 名 オンライン参加：8 名 欠席者 3 名）

議題：

1. 前回理事会議事録の確認【審議】
2. Japan Council 理事会(2025 年第 2 回)報告
3. 2025 年中間会計報告
4. 2027 年・2028 年役員選挙について【審議】
5. 委員会活動報告
 - 5-1 Chapter Operations Committee
 - 5-2 Fellow Nominations Committee
 - 5-3 Membership Development Committee
 - 5-4 Nominations Committee
 - 5-5 Technical Program Committee
 - 5-6 Publications Committee
 - 5-7 Student Activities Committee
 - 5-8 History Committee

6. Affinity Group 活動報告

6-1 Life Members Affinity Group

6-2 Young Professionals Affinity Group

6-3 Women in Engineering

7. その他

7-1 HTC 2025 報告

7-2 SIGHT 報告

7-3 EA 報告

7-4 HISTELCON 報告

【議事 <審議・決定事項>】

以下の審議事項につき、異議なく承認された。

議事 1. 前回理事会議事録

議事 4. 2027 年・2028 年役員選挙について

- ・ 常設委員会に Nomination Committee（以下 NC）を残し、選挙ごとに Election Committee(以下 EC)を立ち上げる。そのための常設委員会の前任のメンバーを残す（NC Secretary）方法で進める。
- ・ 2026 年第 1 回東京支部理事会から EC を立ちあげてスタートする。
- ・ 鈴木 SIGHT Chair から、同方法についての全会員への告知に、四役の選挙だけでなく、他の OU についても同様の変更があることを掲載することで効率化を図る提案があったが、これに対し久本 Secretary より 12 月までに各 OU に確認し、第 4 回東京支部理事会で審議すると回答があった。

議題 5-1. COC で Award 申請に関して Award 申請フォーマットに申請年号を入れる欄をつくり、申請時の混乱を避ける。

議事 5-2. FNE (Fellow Nomination Committee)

Fellow/Senior Member 指南書につき、武田 PC Chair からの質問から、石井 JC PC Chair に相談し、JC のホームページ内容と調整を図ること。

議事 7-2. SIGHT 報告

HISTELCON 開催の際、YP、WIE、LMAG、SAC、SIGHT など協力してイベントを盛り上げる活動案が出され、調整を図っていくこと。

議事 7-4. HISTELCON 報告

東京支部として HISTELCON2026 の協賛（Technical Co-Sponsor）すること

【議事概要】 ※各報告内容詳細については理事会資料をご参照。

IEEE 東京支部平本 Chair より挨拶

議事 1. 前回理事会議事録の確認

【審議】久本 Secretary より重要議題について再確認の説明があり、異議なく承認された。

- ① 東京支部役員選挙方法（案）について7月末までに指摘事項がなかったため、本日採決をとる。
- ② VICS 開催報告
- ③ 9月末から開催予定の HTC2025 の進行状況報告
- ④ ロゴ作成について。JC と東京支部で一緒に作成予定をしたが、本部への確認により、JC のロゴを先に進めることとなった。

議事 2. Japan Council 理事会（2025 年第 2 回）報告

久本 Secretary より前回理事会より重要点 5 点の報告があった。

- ① 役員選挙について、IEEE の BYLAWS に従った制度に基づいて行うことについて、変更箇所が承認された。
- ② HC より Milestones 贈呈についての確認と方針が明示され、各支部がメインで進めていくこと、資金的な問題は JC からサポートがあることを伝えた。
- ③ HISTELCON 2026 が 11 月に日立中央研究所にて開催すること
- ④ EA の発信について、公開手順などのマニュアルを作成。今後、他 OU でも発信時にはこのマニュアルを活用する。
- ⑤ 2026 年 3 月小倉にて R10 Meeting が開催される予定。

議事 3. 2025 年中間会計報告

菅原 Treasurer より以下の通り報告があった。

- ① 収入は予測した通りに進んでいる。
- ② 予算進捗確認を円滑にするために、フォーマットの入力を正しく、徹底してほしい。
- ③ 申請した予算の執行予定が変更になった際は直接 Treasurer に連絡する。

<質疑>

YP より申請内容の資料反映について質問があり、事務局より YP からの報告内容の確認中で資料反映がされていないが、なるべく早く対応すると回答があった。

議事 4. 2027-2028 役員選挙について

平野 Chair より以下の通り報告があった。

第 2 回東京支部理事会後に素案に修正を加えた。常設委員会に NC を残し、選挙ごとに EC を

立ちあげることで、常設委員会のメンバー1名が残る形にし、持続可能なシステムとすることに対し、審議が行われ、承認された。

2026年第1回東京支部理事会からECを立ち上げスタートする。

<質疑>

SIGHT Chair から、四役の選挙について会員全員向けの告知の際、他のOUの選挙の告知も同時にすることについて提案があった。これに対し久本 Secretary より、12月までに各OUに本件について確認し、第4回東京支部理事会時に審議をすると回答があった。

5. 委員会活動報告 常設委員会活動報告 ※活動報告詳細は理事会資料を参照

5-1. COC(Chapter Operations Committee) 木村 Chair より報告があった。

① 国際会議 sponsorship (MOU) に関する審議が2件あったが、本資料提出後に1件追加となり、それについては次回の理事会で報告する。

② Chapter 活動費に関する審査し、14件を承認、3件を差し戻した。

Award 申請に関して Award 申請時に年代特定するのに混乱する状況改善方法として、フォーマットに申請年号を入れる欄を設ける。

5-2. FNC(Fellow Nominations Committee) 馬場 Chair より報告があった。

① Fellow と Senior Member の指南書を作成し、東京支部のホームページに掲載。現在古い情報（間違った情報もある）も掲載されている JC のサイトでも必要な情報として共有する提案があった。

② 各幹事会社の窓口である JC IPC と連携として、NTT に働きかけたが、他企業への協力依頼も検討中。主要関連大学の各学科にも直接郵送した。（配信先リストは資料参照）

③ ヒアリングにより判明したことだが、Fellow や Senior になるメリットとして、IEEE のステータスに加えた魅力の提示が求められている。

④ 日本からの申請者の平均スコアが下位であったことの是正策として、推薦の際の人選にも検討の余地がある。

⑤ 指南書の JC のホームページ掲載については、武田東京支部 PC Chair より、石井 JC PC Chair に相談する。

5-3. MDC(Membership Development Committee) 久本 Secretary より代理報告があった。

会員継続施策の1つとして在籍年数に応じたピンバッジの送付を完了。感想や要望等のアンケートを依頼しており、結果については第4回東京支部理事会で報告予定。

5-4. NC(Nomination Committee) ※議題4で報告・審議終了している

5-5. TPC(Technical Program Committee) 松本 Chair より報告があった。

主催講演会は年間計画通りに進めている。

Milestones の記念講演会について、東京科学大学側とも連絡をとっていく。

5-6. PC(Publications Committee) 武田 Chair より報告があった。

Bulletin の発行とホームページの改修。

今後は HTC2025、第 3 回東京支部理事会開催報告、TPC の講演会開催報告も順次掲載予定。

5-7. SAC(Student Activities Committee) 吉田 Chair より報告があった。

各 SB の活動活性化、ソウル支部との連携の具体化について議論中。具体的なアクションは早く今年 12 月、遅くて来年の 12 月の予定。2019 年以前の活動を再開させるという方向性で調整中。予算は JC SAC で申請している。

久本 Secretary より、12 月のイベント開催時には清算期限が厳しくなるため、十分な準備が要されることが伝えられた。

5-8. HC(History Committee) 河東 Chair より報告があった。

各所で Milestone の式典準備が進んでいる。フラッシュメモリー案件が申請前の段階でストップしている。

議事 6. Affinity Group 活動報告

6-1. LMAG(Life Members Affinity Group) 代理で久本 Secretary より報告があった。

R10 Meeting、HTC2025 でスペシャルセッションを開催予定。活動は順調。

6-2. YP(Young Professional Affinity Group) 小野寺 Chair より報告があった。

① YP 説明会活動が採択され、本部より\$1000 の支給が承認された。

② HTC2025 の参加費の減額となり、その分を SIGHT から協力依頼のあった、青森で開催された小学生対象イベントに講師 1 名を派遣し交通費として支出した。

③ 予定していたイベントの未開催（学生向け企業見学会）が予想されるため、予算変更申請をする。

6-3. WIE(Women in Engineering) 野中 Chair より報告。

① IEEE R10 WIE ATHEnA Project #1 に東京信越 WIE 会員（大学院生）の申請がとおり、Fund を獲得した。

② 8 月に都営されていた女子中学生向けのモノづくり WS が主催者の体調不良により 10 月に延期となった。

③ HTC2025 の WIE セッションの準備中。

議事 7. その他

※諸事情により議題の順番が変更された

7-4. HISTELCON 報告 大島 HISTELCON Local Arrangement Chair より報告。

2026 年 11 月 25 日～27 日、日立中央研究所にて開催予定。

主催：IEEE R10、共催：IEEE HC、IEEE ヒストリーセンター、IEEE JC

HISTELCON 委員会が結成され、招待講演者も決まってきた。

【審議】東京支部も協賛（テクニカルサポート）することが東京支部四役より提案され、本理事会の場で承認された。

・東京支部 HC Chair より、協賛することによる東京支部の費用負担について質問があったが、久本 Secretary より、今回の HISTELCON 2026 では R10 が主催であり、費用については R7～R10 が分担して負担することになっており、赤字が出たとしても東京支部には負担がないと回答があった。この回答に対し東京支部 HC Chair より理解が得られた。

・東京支部の協賛が承認されたことで、東京支部 HC Chair より Milestones 受賞者への呼びかけに協力することに賛同が得られた。

・招待講演者について、技術史的な観点からの招待講演者のノミネーションも考慮されては？との提案があった。これに対し、久本 Secretary より、講演依頼の際、会議の主旨を伝えた上で内諾を得ているが、今後出状する正式な依頼状にその点を明記するとの回答があった。

・東京支部のサポート内容についての質問に対し、久本 Secretary より東京支部が共催なのか？協賛なのか？については HISTELCON 実行委員会の Technical Program Chair の判断に委ねるとの回答があった。

7-1. HTC2025 報告 滝嶋 HTC2025 実行委員長・JC Vice Chair より報告があった。

千葉商科大学にて 9/29～10/1 に開催。参加者は 200 名強になる予定。論文 64 件のうち 7 件が表彰される。予算は東京支部の貸付は使わずに済むよう進めていて、1300 万円規模であり、現在は収支バランスが拮抗している。JC 四役は招待している。参加者には 3 日間連続での参加を進める。

<質疑>

HTC の主催・共催体制についての質問に対し、滝嶋実行委員長より主催は東京支部、共催は R10、千葉商科大学。R10 は Co Financial Sponsor、千葉商科大学は Co Technical Sponsor として、会場提供、TPC メンバーの提供の協力を得ている。周知協力は「共催」ではなく、「協賛」になるとの回答があった。

7-2. SIGHT 報告 鈴木（麻）Chair より報告。

① HTC2025 の Day 0 イベントの講演者（日本最適化栄養食協会事務局の前島秀樹氏）が決まり、準備が進んでいる。この講演会の参加は無料。

- ② 9/8 に青森県むつ市で毎年開催されている小学生対象のイベントに講師 2 名を派遣。
- ③ 小学生対象のプログラミング教室の共催。
- ④ HISTELCON についての提案。SYWL+EA の意見交換会から、会員増員施策の 1 つとして IEEE に関わる特典として、国内で開催される国際的イベントの促進がカギであるとの共通認識から、HISTELCON2026 に合わせて一緒に盛り上げる活動を考えたい。

<質疑>

SAC Chair より、昨年あった青森むつ市で開催の小学生対象イベント（夢ここ教室）への派遣依頼が今年はなく、予算が浮いてしまったことから、次年度の予算について質問があったが、鈴木 SIGHT Chair より次年度以降は SIGHT でまとめて予算を確保する提案があり、詳細は二者で相談となった。同様の質問が YP Chair からもあり、同様の対応となった。

また、④の HISTELCON の SYWL+EA のイベントの提案に関して、SAC、YP、WIE、EA 各 Chair から賛同が得られた。LMAG Chair は欠席のため、後日確認。

7-3. EA(Educational Committee)からの報告 稲森 Chair より報告。

YP と共催で開催したイベント（Summer Science School）が非常に盛り上がった。

以上